



~ 13
3364
9





享保仁政錄卷之三九



目錄

一 久保家一同防呼出しほりか ひとどう せうしゅ

兼後宿業三解揚屋人入事あきつとぎ さんげい へいしや ひといりじ



門 へ 13
號 3364
卷 9

享保に改元を乞ふ

大正八年八月廿九日
本大學出版部 贈

久米家一日の事
並に後行の事

物多し
少く
又

は 陸 羽 道 中 一 日 中 宿 せ し
り 用 人 一 人 出 立 分 の 一 人
歩 羽 道 の 中 宿 せ ぬ 由 申
ゆ へ 一 日 中 宿 せ ぬ 由 申
方 出 立 分 一 人 出 立 分 使
出 立 分 一 人 出 立 分 使
よ 一 日 中 宿 せ ぬ 由 申
一 日 中 宿 せ ぬ 由 申
少 包 持 使 持 使 一 日 中 宿 せ
る 由 申 分 使 持 使 一 日 中 宿 せ
月 香 大 泉 誠 義 寺 持 使 一 日 中 宿 せ
河 色 寺 持 使 持 使 一 日 中 宿 せ
右 持 使 持 使 持 使 一 日 中 宿 せ
表 持 使 持 使 持 使 一 日 中 宿 せ
馬 合 持 使 持 使 持 使 一 日 中 宿 せ
白 持 使 持 使 持 使 一 日 中 宿 せ

くろくろみりの内と名あり
中々重の掃りを入念に付
後五の重を重とのりの香道を
あしよの川くろくろくろくろ
の志願本出出人なるに付
四週ありて海ありてあり
あり

くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日くろくろみり

くろくろみり

日七 孫儀の人情人情 久永市尾久永市尾

日 三平の儀三平の儀 久永七三久永七三

日 三平の儀三平の儀 久永徳兵衛久永徳兵衛

日 三平の儀三平の儀 久永の儀久永の儀

右のめんめん 久永の儀久永の儀

七人儀七人儀 久永の儀久永の儀

久永儀久永儀 久永の儀久永の儀

ゆへゆへ 久永の儀久永の儀

相良又相良又 久永の儀久永の儀

楳の馬傷楳の馬傷 久永の儀久永の儀

久永の儀久永の儀 久永の儀久永の儀

久永の儀久永の儀 久永の儀久永の儀

久永の儀久永の儀 久永の儀久永の儀

久永の儀久永の儀 久永の儀久永の儀

久永の儀久永の儀 久永の儀久永の儀

善院所 俾川 守了 西元

一 藥 一 又 俾 所

一 大 是 候 所 是 日 久

永 家 一 日 正 日 右 膳 所

一 世 是 候 所 是 日 久

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

一 候 所 是 日 久 候

し其の紙こゝろきりうらま書かき徳とくめめはは天あま
又またはは道みちのの心こゝろああかかくくししのの心こゝろ
おおたた手て書か面めんををりりひひくくししのの心こゝろ
ゆゆししのの心こゝろゆゆららのの心こゝろ
其その使つかのののの心こゝろともとも巨こほろ遠とほ出いだだしし
ししのの心こゝろたたりり後ごくく又またたたりり
立たち後ごのの心こゝろはは辰たつみ右みぎ懸かくくゆゆりり
海うみ宿しゆく業ごふのの心こゝろ同どうたたりり

所ところのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりりととゆゆりり
るるたたりりのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり
吉きち白しろ海うみのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり
ととゆゆりりのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり
はは源げん創そうくく出いででししのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり
ととゆゆりりのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり
おお様さまゆゆららのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり
女おんなをを何なにのの心こゝろたたりりししのの心こゝろたたりり

害^{ガイ}多^タの 例^{レイ}は 勝^{カチ}所^{トコロ}包^フく
— 是^{コレ}は 久^{キウ}く 水^{スイ}織^{オリ}糸^{イト}の
糸^{イト}は 赤^{アカ}遠^{トウ}く 赤^{アカ}糸^{イト}の 結^{ムス}む
其^{コノ}月^{ツキ}十^{ジュウ}六^{ロク}の 朝^{アサ}梅^{ウメ}回^{マヒ}る
件^{ケン}は 糸^{イト}の 結^{ムス}む
糸^{イト}は 紅^{ベニ}糸^{イト}の 結^{ムス}む
五^イおと — 糸^{イト}の 結^{ムス}む
あゆむと 糸^{イト}の 結^{ムス}む

は 糸^{イト}の 結^{ムス}む — 主人^{シヤンジン} 織^{オリ}
糸^{イト}の 結^{ムス}む — 田^タ梅^{ウメ}糸^{イト}
周^{シユウ}防^{ボウ}の 糸^{イト}の 結^{ムス}む
糸^{イト}の 結^{ムス}む — 糸^{イト}の 結^{ムス}む
糸^{イト}の 結^{ムス}む — 糸^{イト}の 結^{ムス}む
糸^{イト}の 結^{ムス}む — 糸^{イト}の 結^{ムス}む
糸^{イト}の 結^{ムス}む — 糸^{イト}の 結^{ムス}む

出づる所は...
子海河...
田舎所...
日名...
とち...
のよ...
ふと...
うと...
とけ...
とけ...
とけ...

遠...
と...
書...
日...
と...
と...
と...
と...
と...
と...

あはれなるが落し 色を我女房
かおろりたるたや 小丁交
都合よりゆとりも合
長ながゆりあがらんや ぬき
あ 女房かみ出さるる
あらゆるや 茶を席に
あはれなるのさし 出金のか
うまの 教をのりたるま
あはれなる

あはれなるおの 懐 女房を
あはれなる 教 女房を
あはれなる 茶を席に 悲し
あはれなる 其のあはれ
あはれなる 茶を席に 切害
あはれなる 茶を席に 切害
あはれなる 茶を席に 切害

美と花 田所 家
春はあけぼの 日影 侍
不承言の ありく 善 兼
相傳の ありく ありく
弟は久米 鐵 ありく ありく
ま 出妻 ありく ありく
か 母まぬ 軒 法 昌 寺 ありく
於川 保十 節 ありく ありく
お ありく ありく ありく ありく
妻 ありく ありく ありく ありく
ありく ありく ありく ありく
ありく ありく ありく ありく
ありく ありく ありく ありく
ありく ありく ありく ありく
ありく ありく ありく ありく

入家^{いりけ}年^{とし}や^りけ^りす^るふ^しは^はの^りの^り
茶^ちの^り席^{せき}と^と揚^あり^る屋^やく^あり

ら^らま^まさ^ささ^ささ^さ又^{また}享^{きやう}保^ほ

之^{この}年^{とし}九^く月^{げつ}中^{ちゆう}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

町^{まち}三^{さん}丁^{てい}目^めの^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

之^{この}町^{まち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

東^{とう}右^う也^やの^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

川^{かわ}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

出^いる^る日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

自^{みづか}家^かの^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

東^{とう}右^う也^やの^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

北^{きた}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

執^{しやく}事^じの^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

茶^ちの^り席^{せき}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

御^ご所^{しょ}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

又^{また}十^{じゅう}の^り日^{にち}の^り日^{にち}の^り日^{にち}

ま—てはぎ—のま—りか後
花—を又—のあき—
糸—のま—らき—り
中—のま—の私
帰—のま—の
お—のま—の
月—のま—の
新—のま—の

行—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の
ま—のま—の

三



享保仁政源也三九年

淡川源十郎

淡川源十郎
島麻火正所

久永家

